

令和5年度（横浜南支援学校）不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況（中間評価）
法令遵守意識の向上	わいせつ事案等公務外非行防止及びモラルの向上	通知、新聞報道等を受け、情報の周知徹底と注意喚起を、朝の職員打合せや職員会議における事故防止研修会で随時取り上げた。今後も継続して取り組む。
職場のハラスメント行為の防止	パワハラ・セクハラ・マタハラ等の未然防止	不祥事防止啓発資料を活用し、注意喚起を行った。今後も継続して取り組む。
体罰、不適切な指導の防止	体罰、不適切指導の未然防止	質の高い同僚性を醸成するために、夏季休業期間中に「職員運動会・文化祭」を企画、実施した。本校は、本館病棟、こころ棟面会授業で、個室での指導場面があるため、不適切な指導が起きにくい環境づくりについて、今後も継続して定期的な注意喚起に取り組む。
成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	マニュアルの整備 チェック体制の再確認	昨年度からの継続で「成績処理、評価における事故防止」を全ての学部部門の共通のテーマとし、取り組んでいいた。特に今年度は高校入学者選抜においてインターネット出願システムが導入されたことに伴い、プロジェクトを立ち上げて適切かつ遺漏の無い運用に努めた。
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報の取り扱いに関するルールの遵守 記録媒体の適正利用の徹底	不祥事防止啓発資料を活用し、注意喚起を行った。病院という身近な場であった事故、病院内での鍵の一時紛失等の事例を取り上げ、自分事として考える機会とした。今後も情報セキュリティ監査の結果をもとに、引き続き適正利用に努める。
業務執行体制の確保等 （情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）	確認協力体制の見直し ダブルチェック、トリプルチェックの徹底	一昨年度からの継続で「ゆとりを生み出す業務改善」を全ての学部部門・校務グループの共通のテーマとして、取り組んだ。また、業務アシスタント、業務サポーターへの依頼や衛生委員会での業務改善への取組みと連動し、意識をさらに高めることができるよう、努めた。今後も継続して取り組む。
会計事務等の適正執行	私費会計に係る事務処理の適正執行・私費会計マニュアルの整備	不祥事防止啓発資料を活用し、注意喚起を行った。今後も継続して取り組む。
保健・安全対策 および学校防災・安全対策	安全・安心な学校環境の整備 事故防止のための適切な対策	病院と連携し、危険個所の確認・改善に取り組んだ。昨年度に引き続き、所管警察署と連携した防犯研修を実施した。また、今年度は病院と合同の避難訓練を実施し、病院との情報共有方法や、放送設備機器の不具合等に対し、病院内の会議で話題にして対応をすすめた。新型コロナウイルス感染症防止体制を状況に応じて改善し、感染防止の研修を行うことで防災・安全意識のさらなる向上につながるよう、取り組んだ。今後も、病院、特に感染制御室など関係各所と連携を重ねていく。

○ 令和5年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和6年度に取り組むべき課題（学校長意見）

令和2年度から3つの年間のテーマ（重点的取組）に基づき、今年度も、学部・部門、校務グループでの定例研修、具体的な実践、全体の不祥事防止研修での良い取り組みの共有を実施した。特に「ゆとりを生み出す業務改善」を通じて同僚性の構築にもつながってきている。次年度以降もこの取組を継続し、さらに不祥事防止意識を高めていきたい。